

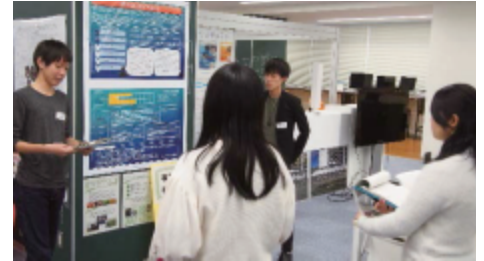


とくしま元気印
イノベーション
人材育成プログラム
ニュースレター

Vol.3
2017.12

CONTENTS

- ご挨拶／平成29年度の事業概要と中間評価の実施について
- 会議の報告
- 【四国大学】創業支援事業の取り組み
- 【徳島大学】実践力養成型インターンシップの取り組み
- 【協働】共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」
- 【協働】徳島の魅力、徳島で働く～徳島で働くためのガイダンス～
- 今後予定の事業



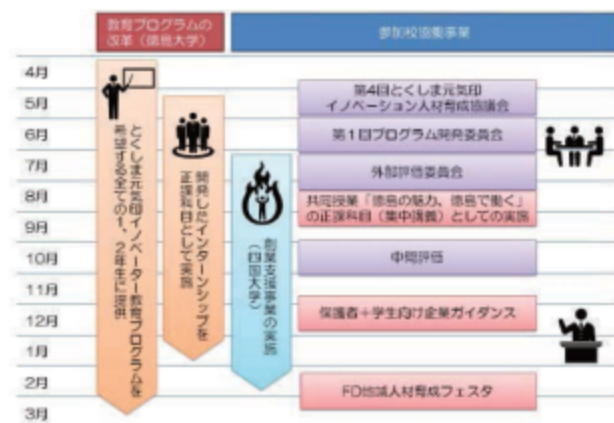
【徳島大学】実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ中間報告会の様子

ご挨拶 徳島大学理事(地域・産官学連携担当)・副学長 吉田和文

「11万7868人」。これは東京圏の2016年の転入超過数であり、地方創生を合い言葉に、国や地方公共団体が様々な取組みを始めてからも、国全体としてみると、地方から東京圏への人口流出は止まるどころか、むしろ加速しています。一方、徳島県の転出超過数は「1,385人」と前年比で約4割減少しており、改善への明るい兆しが見え始めています。しかしながら、本県でも大学等への進学や就職を契機とした関西や東京圏への若者（15～24歳）の流出が続いております。地方創生の中心となるのは「ひと」であり、徳島の未来を担う「若者」を育成する主役は徳島大学を始めとする県内高等教育機関であります。COC+事業を通じて県内就職率の向上を図るためには、産業界や行政と力を合わせ、若者にとって魅力ある就業機会を創出すると共に、若者が徳島への理解を深め、「自分の将来に対するビジョン」と「徳島で働き暮らすことのメリット」に確信を持つことが不可欠であります。本事業も3年目の折り返し地点を迎えており、関係各位の今後より一層のご尽力をお願い申し上げます。



平成29年度事業の概要／中間評価の実施について COCプラス推進監 玉真之介



県内就職率の向上を目指すCOC+事業も3年目となりました。昨年度は事業の柱となる取組を試行的に実施しましたが、今年度は、それを踏まえて各種事業の本格実施に取り組んでいます。

平成29年4月には、徳島大学で構築した地域人材育成の教育プログラムを平成28年度及び平成29年度の入学者全員に案内しました。5月からはインターンシップフェアに始まる今年度の「実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ」がスタートしました（3頁参照）。また、四国大学が中心となる創業支援事業も昨年度に開始しました（2頁参照）。本事業で今年度一番のメインイベントは、8月のお盆明けに開講した6高等教育機関の共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」の集中講義でした（4頁参照）。

冒頭には飯泉徳島県知事にも講師として登壇いただくと共に、産業界のリーダー等による講義とOB・OGによるパネルディスカッションを組み合わせた授業を、複数会場をネットで結んで実施しました。10月には、本事業の中間評価が東京であり、野地徳島大学長ほか5名でプレゼンを行い、ヒアリングを受けました。結果はまだですが、現在の取組をしっかりと進めること、また、補助期間終了後にも継続できる体制を早めに構築することの助言を得ました。今年度の取組としては、「FD地域人材育成フェスタ」（3月3日）が予定されています。充実した内容になるように努めますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

会議の報告

平成 29 年 4 月 26 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 29 年 5 月 16 日	とくしま元気印イノベーション人材育成協議会
平成 29 年 5 月 24 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 29 年 6 月 8 日	COC+本部執行会議
平成 29 年 6 月 12 日	COC+推進機構
平成 29 年 6 月 22 日	教育プログラム開発委員
平成 29 年 7 月 26 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 29 年 9 月 27 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 29 年 9 月 28 日	平成 28 年度事業外部評価委員会の開催
平成 29 年 10 月 25 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 29 年 11 月 10 日	教育プログラム開発委員会分野別分科会兼プログラム教員会議分科会

第 4 回とくしま元気印 イノベーション人材育成協議会



平成 29 年 5 月 9 日に協議会を開催し、昨年度の総括と今年度の事業計画について審議しました。

ワーキンググループ兼参加校協働 事業実施委員会



参加校から選出された委員でワーキンググループを構成し、今年度の協働事業の具体的実施案について協議しました。

教育プログラム開発委員会分野別分科会 兼プログラム教員会議分科会



徳島県下でも深刻な“人材不足”の実態に焦点を絞り、現場に近い方から話題提供をいただき、地元就職増加につなげる教育プログラムについて協議しました。

【四国大学】創業支援事業の取り組み

【ビジネスサークル「とくしまサイコー塾」】

夏休み期間を除く毎月第 2 木曜日の夜に定例会を開催し、今年度（11 月時点）、延べ 229 名の学生が参加しています。県内の起業家や業界リーダーの講演やグループワークを通して、「なんのために働くのか?」、「自分らしい生き方とは?」といったことについて真剣に考える場をつくっています。

【とくしま学生ビジネスプラン道場】

平成 29 年 7 月 1 日にキックオフセミナーを開催し、10 月 31 日のエントリー締切では 131 プラン、224 名の参加がありました。1 次審査を通過した参加者は、今後、ブラッシュアップセミナー、2 次審査を経て、平成 30 年 1 月 21 日に徳島グランヴィリオホテルで開催される最終審査に挑戦します。

【社長のかばんもち】

今年度は、4 名の学生が夏休みを利用して、4 社の県内企業の経営者の「社長のかばんもち」に参加し、平成 29 年 11 月 8 日に報告会を開催しました。参加学生からは「将来について一つの考えにしばられず、色々な目線から見ていきたいと思った。」、「自分の将来像が明確になった。」等の意見が聞かれました。

【チャレンジショップ】

平成 29 年 11 月 12 日に 2 名の学生が勝浦町で開催された「かつうら軽トラ市」に出店しました。当日の販売だけでなく、事前調査、コンセプトの策定、予想収支計画の作成、農業者からの仕入、備品調達まで一貫して学生が実施しました。参加学生は予想と実績の計画を振り返り、「実際にやってみて事前調査の必要性を感じることができた。」、「経験を通して販売のテクニックを見つけることができた。また、チャレンジしたい。」等の意見が聞かれました。



とくしまサイコー塾の様子



社長のかばんもちの様子



かつうら軽トラ市の様子

【徳島大学】実践力養成型（寺子屋式）インターンシップの取り組み

徳島大学では、教育カリキュラム改革の1つとして、寺子屋式インターンシップの開発を進めています。寺子屋式インターンシップとは、受入団体側にはメンターを、大学側にはドン（学内メンター）を配置し、相互が密に連絡を取り合い、事前学習から事後の振り返りまで「課題・レポート・ディスカッション」を繰り返す「寺子屋式指導法」を取り入れた少人数制の課題解決型インターンシップです。

現在、15の企業・団体のプロジェクトに臨む学生54名のサポート体制を組み、ドン15名をはじめとした学内の先生方、受入団体様、昨年度インターンシップ修了生の協力を得ながら取組を進めています。

【平成29年度実施状況】

受入団体名	受入担当	企業内メンター	ドン（学内メンター）
徳島県赤十字血液センター	献血推進課主事 藤倉温	血液推進課推進係長 加藤圭一郎	理工・生資 後藤優樹
(株)QLiP	情報責任者 江本大輔	-	理工 浮田浩行
(一社)徳島新聞社	木村直哉	販売局販売部部長 手束泰二	理工 日下一也
港産業(株)	スマートエネルギー部部長 野口栄美、 スマートエネルギー部ロボット課課長代理 金田雅哉	取締役 林正	総科 矢部拓也
(株)テレコメディア	コーポレートデザイン部 平島夏美	コーポレートデザイン部マネジャー 葛籠枝美	COC+推進CD 川崎克寛
徳島トヨタ自動車(株)	管理部 安田壮	業務課係長 有持勝也	総科 松嶋一成
徳島大学大学院社会産業理工学研究部	理工 原口雅宣	理工 原口雅宣	AC部門 花房世規(サポーター)
大塚テクノ(株)	人事総務部 長谷川恵理	人事総務部室長 千葉雄介	-
アール・エスホーム(株)	総務課長 福永真理、畠山千夏	代表取締役社長 多田譲治	創新教育センター 金井純子
(有)椋山農園	堀江祐輔	専務取締役 椋山直樹	生資 橋本直史
(株)松本コンサルタント	総務部 森口浩史、武知奈津実	常務取締役 小林行夫	理工 森本恵美
(一社)Disport	共同代表 高畑拓也、早川尚吾	-	総合教育センター 畠一樹
(株)あわわ	Web 事業部マネジャー 大汐哲也	-	教養 北岡和義
廣間組(有)	EA21 環境事務局技士 松本恭典	専務取締役 西田靖人	理工 尾野薫
(株)ネオビエント	代表取締役 藍原理津子	-	総科 大淵朗、 学生支援課副課長 宮川純子

【取り組みの様子】



インターンシップフェアの様子

平成29年5月11日に実施したインターンシップフェアには1期生（28年度履修生）10名の運営サポートにより行われ、221名が来場しました。



ドンミーティングの様子

平成29年6月、9月にドン（学内メンター）とコーディネーターがインターンシップの効果的な進め方等について協議しました。



インターン生のミーティングの様子

2期生の取り組みに、1期生が各段階で学生メンターとしてサポートに入り、自身の経験を踏まえたアドバイスを行っています。



ニュースレターの作成の様子

1期生から、今年度のプロジェクトに取り組む2期生を応援したいとの申し出があり、2期生に向けてアドバイスやエールを送る「ニュースレター」を企画、作成し、発行しています。2期生にとって、経験者である1期生のアドバイスは大きな励みになっているとのコメントもいただきました。



(株)ネオビエントでの報告会の様子

1期生がさらなるキャリアアップを図るため、昨年の経験を活かしプロジェクトを立ち上げインターンシップに取り組んでいます。

【協働】共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」の報告

平成29年8月21日から24日にかけて、COC+参加校共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」が開催されました。「徳島県の将来ビジョン」「徳島県で働く・暮らす」という二つの観点を学生に伝えることを目的とし、徳島大学、四国大学、四国大学短期大学部、徳島文理大学、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校が連携して4日間の授業を行い、のべ761名の学生が受講。地域の様々な分野で活躍する企業やNPO、行政で働くリーダーの方を講師にお迎えし、地域社会の将来ビジョンをご講演いただくと共に、地元で活躍する若手OB、OGからは自らのワークライフバランスや仕事のやりがいを語っていただきました。

本講座は、複数の参加校で正課の授業として導入するため、メイン会場での講義を映像でサテライト会場に配信し、参加校の学生がそれぞれのキャンパスで受講できる形式で実施しました。



講義を行う飯泉徳島県知事



パネルディスカッションの様子



徳島大会場の受講生の様子

【協働】徳島の魅力、徳島で働く～徳島で働くためのガイダンス～の報告

平成29年12月16日に徳島大学共通講義棟創成学習スタジオ及び6階フロアにて、県内大学、高専、高校の学生・保護者を対象に「徳島の魅力、徳島で働く～徳島で働くためのガイダンス～」を実施しました。徳島の未来を創造する①次世代技術、②地域医療・福祉、③6次産業化、④地域づくり・観光・ICTの各分野において、創造的、革新的な経営をされているリーダーたちの講演や、インターンシップ経験者によるトークセッション、個別企業相談会を通して、多くの人が実は知らない県内企業の今後の産業動向や将来ビジョン、魅力を伝えました。詳細については次号ニュースレターでご報告します。

今後予定の事業

【徳島大学】実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ最終報告会（平成30年1月20日／徳島大学）

現在、徳島大学生54名が企業等15の団体で、組織の課題解決に取り組むプロジェクト型のインターンシップに取り組んでいます。プロジェクトを終えた学生の成果報告会を1月20日（土）に実施致します。

【四国大学】「とくしまビジネスプラン道場」最終審査会（平成30年1月21日／徳島グランヴィリオホテル）

現在、四国大学でビジネスプランコンテスト「とくしま学生ビジネスプラン道場」を進めています。その最終審査会を1月21日（日）13時から実施します。最終審査には、二次審査を通過した6チーム（個人を含む）が挑みます。同時に、高校生によるビジネスアイデアに関するプレゼンテーションも行います。

【協働】FD地域人材育成フェスタ（平成30年3月3日／徳島グランヴィリオホテル）

平成29年度のCOC+事業で得られた成果と、事業を進める中で明らかになった教育上の課題を、県内外の高等教育機関、自治体、企業、NPO等の間で共有するためのシンポジウムを開催します。

事務局だより

COCプラス推進本部事務局は10月16日より新しいスタッフを迎え、現在は5名のスタッフで構成されています。また、実践力養成型（寺子屋式）インターンシップは中間報告会を終えました。現在、インターン生たちは受入団体様、ドン（学内メンター）の皆さまと共に最終報告会に向けてプロジェクトのまとめを行っています。

このニュースレターを読まれて興味を持たれた方は、ぜひお気軽に常三島キャンパスの地域創生・国際交流会館3階の事務所にお越しください。お待ちしております。



徳島大学 COC プラス推進本部事務局（研究・社会連携部地域創生課内）

徳島市南常三島町1丁目1番地（地域創生・国際交流会館3F）

電話：088-656-9885 FAX：088-656-9880

e-mail：coc-plus@ml.tokushima-u.ac.jp

